

瀬戸内海最高峰の星ヶ城と日本三大溪谷美の寒霞渓

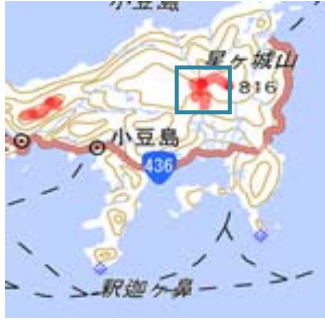
ほしがじょうざん

星ヶ城山

816m

●距離：約 2.3km (登山口～山頂)

●歩行時間：約 1 時間 30 分 (登山口～山頂)



(星ヶ城山登山口)



(星ヶ城山山頂からの眺め)

※すべての地図は、国土地理院の電子地形図を加工して作成したものです。

星ヶ城山は、瀬戸内海で最も高い山で、最高峰からの絶景が楽しめる。南北朝時代の山城の遺構が遺されている。星ヶ城山へと続く寒霞渓は、風光明媚な景観で知られる。古代、応神天皇来島の際にその険しさに岩から岩へと鉤(かぎ)を懸けて登ったところから「鉤懸(かぎかけ)山」と名づけられ、やがて「神懸(かんかけ)」、そして寒霞渓になったといわれる。登山道には表と裏とがあり、表12景・裏8景を歩くと、長い年月によりつくり出された奇岩怪石や希少植物に出会える。

*登山道：

- ・遊歩道が整備されていて歩きやすく、それぞれの見どころの解説が書かれた看板もある。
- ・ロープウェイ山頂駅から地道をたどり最高峰の星ヶ城山へ上ることができる。山頂駅までは、上りはロープウェイを利用し、下りはコンクリート舗装の表12景や裏8景をたどるルートが一般的。体力に応じた楽しみ方ができる。

*注意点/アドバイス：

- ・寒霞渓一帯は国立公園特別地域のため、動物の捕獲、植物の採取等の禁止、火気使用は厳禁。ゴミは各自で持ち帰ってください。

*登山口までのアクセス：

- ・バス停「紅雲亭」から表12景の登山道が続く。
- ・小豆島オーリーブバスで神懸線草壁港より「紅雲亭」まで約15分。運行日はバス会社(0879-62-0171)に要確認。
- ・寒霞渓ロープウェイで紅雲亭より寒霞渓山頂まで約5分。

*関連行事・イベント：

- ・阿豆枳島(あづきしま)神社例大祭(毎年9月16日星ヶ城山頂)

*周辺情報：

- ・寒霞渓山頂に、売店、レストラン、トイレあり。

■島のプロフィール

神代に遡る歴史。手延素麺や醤油、佃煮、ごま油、オリーブ生産で有名。小説『二十四の瞳』の舞台、寒霞渓など見どころ多数。

問い合わせ/小豆島観光協会 0879-82-1775

<周辺位置図>



◆ 「しま山 100 選」とは

(公財) 日本離島センターでは、海に囲まれた島の山々の個性や魅力にスポットをあて、全国の島々を対象に、「しま山 100 選」を選定しました。「しま山」を通じて、訪れる人にも、島の人にも、島の魅力を再発見してもらい、交流の促進につなげていくことがねらいです。

そもそも島とは、海の底から立ち上がった山であり、その姿は高山のような雄大さがありますが、海拔にすれば 1,000 メートル以上のしま山は少なく、体力をあまり気にせずに頂を極める満足感が得られ、一年を通じて楽しめる山が多いことが魅力です。草花や生きもの、地形や地質、全方位のパノラマや多島美、史跡など、しま山ならではの特別な宝物にも出会えるかもしれません。

海を渡ると、そこは島時間。日常からちょっと離れて、島旅・山旅にでかけてみましょう。山から島を眺めれば、島の形や人々のくらしの場、島を囲む美しい海や砂浜、遠くの島々まで見渡すことができ、その島をもっと身近に、もっと好きになれるはずです。



「しま山」登山は、情報集めから

本シートは、各山の魅力をまとめることで、まずは「しま山」や島に興味を持ってもらうことを目的として作成したものです。「しま山」に行くことが決まったら、より詳細な情報を集め、登山計画を立てましょう。

島旅は、季節や天候によって行程などに影響の出やすいものです。事前に、インターネットやガイドブックなどで最新情報を確認するとともに、観光案内所や宿の方などに相談してみるのも、おすすめです。